

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61056	音楽科教育法Ⅲ	2単位 前期	4	講義	小波津 繁雄 (非)

■**テーマ** 中学校・高等学校音楽科の教育目標や、教育者としての育成を目指す能力や適性を理解し、実践的な指導力を身に付け教職への意識を高める。

■**授業の概要**

中学校・高等学校の音楽科教員として必要な、表現領域及び鑑賞領域の指導力を身に付けるために、演習及び教材研究や模擬授業を通して効果的な指導法を修得する。

■**到達目標**

- ①表現領域と鑑賞領域の教材をもとに学習指導案を作成し、教材研究と模擬授業ができる。
- ②器楽（リコーダー）の基礎指導及びアンサンブル指導ができる。

■**授業計画・方法**

1. 授業の内容及び進め方について
2. 中学生の音楽1の教材研究と伴奏演習
3. 中学生の音楽2・3上の教材研究と伴奏演習
4. 中学生の音楽2・3下の教材研究と伴奏演習
5. 鑑賞教材の教材研究とワークシートの作り方
6. 教育実習に向けた学習指導案作成① -歌唱-
7. 教育実習に向けた学習指導案作成② -器楽-
8. 教育実習に向けた学習指導案作成③ -鑑賞-
9. A表現領域の模擬授業と反省①
10. B鑑賞領域の模擬授業と反省②
11. 高校生の音楽教材の学習指導案作成
12. 高校生のA表現・B鑑賞の模擬授業と反省③
13. リコーダーアンサンブル指導法
14. リコーダーオーケストラ指導法
15. 実技テスト、授業の振り返りとまとめ

※中学校音楽科学習指導案は、平成29年告示の学習指導要領に基づいて作成する。  
 ※高等学校音楽科学習指導案は、平成21年告示の学習指導要領に基づいて作成する。

※リコーダーアンサンブル及びリコーダーオーケストラで使用する楽器は、Sn・S・A・T・Bとする。

■**履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）**

- ・音楽科教育法Ⅱを履修しておくこと
- ・中学校音楽共通教材の伴奏を自主練習しておくこと。
- ・リコーダーの基礎的な奏法を習得しておくこと。

■**成績評価の方法・基準**

□**方法** 平常点（30%）ピアノ伴奏・リコーダー実技テスト（50%）授業への関心・意欲・態度（20%）を勘案し総合的に判断する。

□**基準** 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■**教科書・参考文献（資料）等**

□**教科書**

- 中学生の音楽1、2・3上、2・3下、器楽の本、高校生の音楽 : 教育芸術社発行
- 中学校学習指導要領解説「音楽編」(平成29年7月) : 文部科学省、教育芸術社発行
- 高等学校学習指導要領解説「芸術編」(平成21年12月) : 文部科学省、教育出版発行

□**テキスト** : 随時配布

□**参考文献** : リコーダー : 吉澤実 著